

## 平成31年度事業計画(案)

近年は、急速に高齢化が進むとともに、ライフスタイルの多様化や働き方の環境の変化などから、コミュニティを構成する自治会・町内会等の解散や退会者が増加しており、日頃の活動への影響が懸念されている状況です。一方で、地域における課題は、福祉や防災などに代表されるように年々高度化・複雑化しており、コミュニティがこれまでどおり適切に対応していくためには、組織体制の強化や実施事業の見直しも必要になっています。

この様な中、本年は本市のコミュニティ活動のはじまりとなった茨城国体が45年ぶりに開催されます。また、市制施行から80周年を迎えるなど、大きな節目となるこの年に、「自分の地域は自分の創意と努力でつくり上げる」というコミュニティ推進協議会の設立当初の理念を改めて市民の皆さんと共有し誰もが「この町に住んで良かった」と実感できるまちにするため、地域の実情に応じ様々な事業に取り組んでいきます。

## 1. 地域福祉活動

少子高齢化が急速に進む中、高齢者等の生活環境の向上を図る必要があることから、地域社会福祉協議会の機能を有する組織として、市関係課、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等との連携を強化し、地域福祉事業を推進します。

- (1) 社会福祉協議会及び民生委員児童委員の地域福祉推進者と連携したひとり暮らし高齢者や避難行動要支援者の見守りの推進
- (2) 幼児・高齢者・障害者等への福祉活動の推進
- (3) 健康づくり運動の推進

## 2. 茨城国体に向けた取組

本年は、45年ぶりとなる茨城国体が開催されます。地域の一体感やコミュニティの活性化につながるよう、国体推進委員会を中心に、積極的に国体に関する情報発信や具体的な取組を進めます。

- (1) 花いっぱい運動
- (2) 国体支援コミュニティ活動推進事業

## 3. 自主防災・防犯活動

東日本大震災の経験を風化させることなく、「共助」の精神の下、引き続き防災訓練などに取り組み、防災力の強化や防災意識の向上、啓発を図ります。

また、防犯活動については、不審者が頻繁に出没していることや空き家が増えている状況から、小、中学校やPTAと連携を図り、児童生徒の登下校時の防犯パトロールを強化するなど、安心・安全なまちづくりを推進します。

- (1) 防災・防犯意識の向上・啓発

(2) 小、中学校等各種団体との広域的な連携強化

(3) 自主防災活動と組織の充実

(4) 自主防犯活動の推進

#### 4. 生活環境保全活動

生活環境を守り、住みよいまちをつくるために、エコライフへの取組や美化運動などの活動を推進します。また、再生資源の回収については、引き続き、「再生資源回収システム研究会」の取組方針に基づき、行政と連携しながら進めます。

(1) 不法投棄防止活動の推進

(2) まちの美化活動の推進

(3) 落書き防止活動の推進

#### 5. 青少年健全育成活動

将来のコミュニティ活動の担い手となる青少年の健全育成活動については、子ども会や小、中学校及びPTAと連携・協力し、子どもたちに魅力ある活動を企画・実施することによって、コミュニティ活動への積極的な参加を促進します。

(1) あいさつ運動の推進

(2) 青少年健全育成事業の推進

#### 6. 生涯学習活動

住民の生きがいづくりや学習ニーズに応じた各種講座・教育活動を積極的に推進するとともに、生涯学習事業を通して地域に潜在している人材の発掘・育成に努めます。

(1) 各種講演会、講座、教室の充実

(2) 夏まつりや文化祭など、各種イベントの充実

#### 7. 広報活動

コミュニティが行う活動を住民に広く周知し、活動に対する理解を促進するために、様々な媒体を通じた広報活動を行います。

(1) 広報誌の発行等

#### 8. コミュニティの基盤強化

コミュニティの基盤である自治会・町内会等の課題把握と積極的な支援を行うとともに、コミュニティ活動への住民の参加等を促進し、コミュニティの基盤強化を図ります。

